様式第５号（教育実習実施計画に関する書類）

教　育　実　習　等　実　施　計　画
１　教育実習等の内容及び成績評価等
①　教育実習等の時期 3 年次 9 月及び 4 年次 6 月
②　教育実習等の実習期間・総時間数 教育実習Ⅰ：3 年次 2 週間（90 時間）、教育実習Ⅱ：3 年次 2 週間（90 時間）
③　実習校の確保の方法 新潟市教育委員会との連携の下、実習園を調整し、決定してもらう。
④　実習内容 観察、参加、部分実習、指導実習という方法で段階的に教育実践に関わり、指導教員のもとで体験を積むことで、子ども理解、教育、園務の実際、家庭や地域との関係、教育目標達成のための園組織運営および教育職員のあり方について理解を深める。
⑤　実習生に対する指導の方法 大学での教育実習指導を踏まえ、実習園の教職員より指導を受けることを基本とする。実習期間中、実習指導担当教員が巡回し、指導する。
⑥　実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※　評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 評価は、評価基準に基づき、実習園の指導教員から行ってもらう。
２　事前及び事後の指導の内容等
①　時期及び時間数 3 年次前期及び 4 年次前期まで　計 30 時間
②　内容（具体的な指導項目） ・園運営 ・教職員の服務勤務 ・指導案作成・模擬保育 ・実習の心構え、実習記録の書き方 ・実習報告会（幼児理解、園組織運営および教育職員のあり方） ・特別講義（服務勤務、幼稚園教諭の執務、就学前教育の現状と課題）

3　教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

①　大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・　委員会等の名称：教員養成カリキュラム委員会

・　委員会等の構成員（役職・人数など）

委員長（1 名）

委　員（6 名）教務委員長、教務副委員長、看護学科長、子ども発達学科長
教職及び教科担当者 2 名

計 7 名

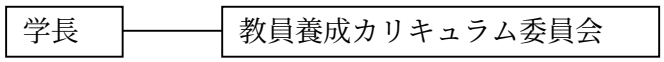
・　委員会等の運営方法

年 2 回の定例会議を開催し、必要に応じて臨時会を設ける。

【年度初め】カリキュラム、指導体制等について情報交換及び連絡調整を行う。
教員養成における連携について協議する。

【年度末】　カリキュラム、指導体制、関係機関との連携等についての評価と改善案について協議する

【委員会の組織図】



②　大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等
（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

・　委員会等の名称：幼稚園教諭育成委員会

・　委員会等の構成員（役職・人数など）

委員長（1 名）子ども発達学科　学科長

委　員（3 名）教職及び教科担当者　　計 4 名

・　委員会等の運営方法

年 3 回の定例会を開催し、必要に応じて臨時会を設ける。

【年度初め】　履修ガイダンスの実施要項、指導体制について審議する
学生の履修状況、幼稚園教育実習等について検討する。
実習園との連絡調整を図る。

【後期初め】　学生の前期の履修状況等について確認し、必要に応じて個別に指導する。
実習園との連絡調整を図る。

【年度末】　学生の後期の履修状況について確認し、必要に応じて個別に指導する。
カリキュラム、指導体制、実習園・教育委員会との連携等についての評価と改善策について協議する

【委員会の組織図】

4　教育実習の受講資格

幼稚園教育実習Ⅰ

2 学年次後期終了の時点で下記の条件を満たしているもの

① 幼稚園教諭を目指し、教職につく意思があるもの

② 2 学年次後期終了時点までの幼稚園教諭課程必修科目及び幼稚園教諭一種免許状取得のために必要な開講科目を全て修得しているもの

幼稚園教育実習Ⅱ

3 学年次後期終了の時点で下記の条件を満たしているもの

① 幼稚園教諭を目指し、教職につく意思があるもの

② 3 学年次後期終了時点までの幼稚園教諭課程必修科目及び幼稚園教諭一種免許状取得のために必要な開講科目を全て修得しているもの

5　実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	幼稚園 19 学級	
○	×	教育委員会名	新潟市教育委員会	幼稚園：5 園

幼稚園教育実習　評価票

子ども発達学科　　新潟青陵大学

学籍番号	氏　名	期　　間
		年　月　日～　　年　月　日

*下記の1～5の各項目の評価にあたっては、総合成績の下欄にある【成績評価基準】をご参照ください。

評　　価　　項　　目	評　価 *
1. 実習の状況 積極性、責任感、勤務状況、日誌など書類の提出、服装、言葉遣い、 教職員とのコミュニケーション	(20点満点)
2. 教育活動の観察･参加 個々の幼児･集団の活動についての、観察や体験的理解 教師による教育活動の目的や意図の理解	(20点満点)
3. 教育活動の計画 子ども理解に基づく指導案の作成と省察（目的やねらいの設定、指導内容の研究等） 目的やねらいの設定、指導内容の研究	(20点満点)
4. 教育活動の展開･評価 教材の研究や準備、環境構成への配慮。目的、ねらいにそった活動の展開 自己の教育活動に対する適切な評価･反省、および指導事項の改善に対する 意欲的取り組み	(20点満点)
5. 教育組織の運営 組織の運営･教育目標への関心と理解 家庭や地域との関係への関心と理解 カリキュラム･マネジメントへの関心と理解	(20点満点)
【総合評価】	上記1～5の合計 (100点満点)

※【総合評価】は、以下の＜成績評価基準＞で評価をお願いします。

＜成績評価基準＞
100～90点：特に優れた成績
89～80点：優れた成績
79～70点：妥当と認められる成績
69～60点：合格と認められる最低限の成績
59点以下：合格と認められる最低限の成績に達していない

特記事項

上記の通り評価します

年　　月　　日

実習園名

園長氏名　　印

実習指導者氏名　　印

実習生受入承諾書

令和 4 年 6 月 13 日

学校法人新潟青陵学園
理事長　篠田　昭　殿

新潟市教育委員会
教育長　井崎　規之

新潟青陵大学が設置する福祉心理こども学部子ども発達学科（仮称）の幼稚園教諭養成に係る教育実習について、下記の通り実習生を受け入れることを承諾いたします。

記

1. 実習受入に係る学科及び免許状の種類
子ども発達学科（入学定員 40 名、3 年次編入定員 5 名）
幼稚園教諭一種免許状

2. 教育実習受入時期
幼稚園教育実習Ⅰ：毎年 9 月（2 週間）
幼稚園教育実習Ⅱ：毎年 6 月（2 週間）

3. 実習園
新潟市立沼垂幼稚園　（所在地：新潟市中央区鏡が岡 5-5、受入可能人数：15 名）
新潟市立西幼稚園　（所在地：新潟市西区内野上新町 11791-2、受入可能人数：15 名）
新潟市立新津第一幼稚園　（所在地：新潟市秋葉区新津本町 4-4-3、受入可能人数：15 名）
新潟市立新津第三幼稚園　（所在地：新潟市秋葉区山谷町 3-4785、受入可能人数：15 名）
新潟市立結幼稚園　（所在地：新潟市秋葉区結 160-3、受入可能人数：15 名）

以上